

大きなブナに会いに行きませんか・・・ スキーで旅をして、温泉にほっこり

ネイチャースキー 野沢温泉 (いっぱい滑るコース)

～木風舎のネイチャリング・スクール～ 講習番号 23116 3月4日(土)～5日(日)

野沢温泉スキー場の上部・毛無山の南に、かつて将軍に献上する鷹を育てるために、一切斧が入れられなかった森があります。樹齢 200 年を越える巨木のブナが続くこの森は、野沢温泉の豊かな水や温泉の源でもあります。

ゴンドラとリフトを利用して、この大きなブナの森を中心に、上ノ平の白樺が点在する絵葉書のような広～い雪原、そしてブナ林に囲まれた巣鷹湖などを楽しみます。うち1日は、条件が良ければ、毛無山から千曲川沿いの集落まで、標高差 1500m のロングなツアーを楽しみます。

そして夜は温泉三昧。宿には源泉掛け流しの、いかにも温泉らしい瑠璃色の温泉と、雪見露天風呂があり、野沢温泉にたくさんある源泉の中でも、良質の自家源泉として知られています。そして温泉饅頭の湯気が立ち上る、風情ある野沢の温泉街と、13 箇所の共同浴場も楽しみます。

昼は大きなブナに囲まれて、雪の中で遊んで風景を満喫し、夜は温泉と地酒と野沢菜・・・これぞ信州の醍醐味です！

◎対象

今回は「いっぱい滑るコース」のみの開催ですので、テレマークスキーでスキー場の中級コースを連続ターンでスピードをコントロールしながら楽しく滑れる方。(またはテレマークスキーを履くのが初めての方は、アルペンスキー上級者の方)

◎集合

【いっぱい滑るコース】

A. 3月4日(土) 午前 9:10 電車とバスで野沢温泉バス停へ

そのためには、東京方面からは、

東京発 6:28 北陸新幹線はくたか 551 号⇒飯山着 8:18、

飯山駅前発 8:45 野沢温泉行きバス「野沢温泉ライナー」→終点野沢温泉バス停着 9:10

バス停にお迎えに上がりますので、徒歩 5 分の野沢温泉ホテルに向かいます。

B. 3月4日(土) 午前 9:20 頃までに、お車などで「野沢温泉ホテル」へ

雪道の備えも忘れずに。地図は別紙をご参照ください。お着替えの後、10 時頃にホテルを出発します。

C. 3月3日(金) 夕食後に「野沢温泉ホテル」へ

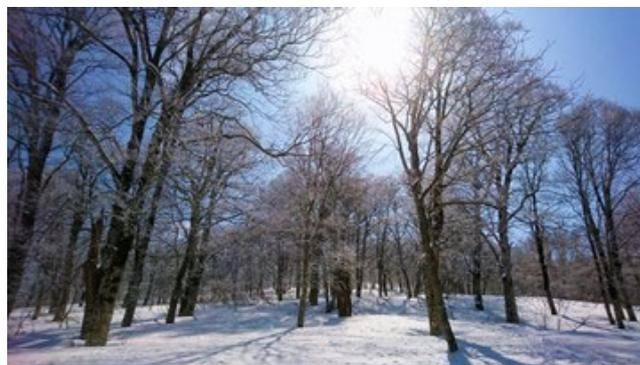
新幹線とバス、またはお車で、野沢温泉ホテルにいらしてください。

飯山駅から野沢温泉へのバスは、のざわ温泉交通の「野沢温泉ライナー」と、長電バスの「飯山・野沢線」がありますが、「野沢温泉ライナー」の方が直通で早いです。時刻は WEB で検索してください。「野沢温泉ライナー」は 1 日 10 便運行で、最終は飯山発 21:20 です。

D. 3月3日(金) 夕食付きで「野沢温泉ホテル」へ

交通については C をご参照ください。

※当日の緊急連絡は、090-3060-0776 または野沢温泉ホテル 0269-85-2011 へ。



◎行程

1日は Gondola とリフトで毛無山山頂に上がり、ここを起点に、明るい林を抜け、雪原を横切り、ゲレンデ近くの別荘地を抜け、灯籠木峠から林道を経て、スキー向きの気持ちの良い林間の尾根をずっと滑り、千曲川沿いの七ヶ巻という集落まで滑り降ります。毛無山山頂から千曲川の近くまで、一つの山をゆっくり滑り降りる、スキーを使った旅の感覚が味わえます。この日、ゲレンデでないバックカントリーの林の中を滑れる標高差は、なんと約 1500m！ちなみに登りの標高差は 50mほど。だから体力的には余裕で自然を楽しめます。しかもこの途中のわずかな登りが、「旅」としてのいいアクセントになっている、じつに好ルートです。



もう1日は再び Gondola とリフトで毛無山山頂に上がり「巢鷹の森」の、大きなブナの林間の滑りを十分に楽しめます。大きな、大きな、とても存在感のあるブナたちと、その間を縫う滑りを堪能してください。ブナに囲まれてお昼を食べて、上ノ平の明るい林や広い雪原、そしてブナ林に囲まれた巢鷹湖の、のんびりした雰囲気も楽しめます。下りは灯籠木峠からスキー場の連絡コースに合流します。

夜はゆっくり温泉に浸かって、おいしい料理を食べて、スタッフと一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

「野沢温泉ホテル」にて2日目の 16:30 頃解散の予定です（宿に戻ってから温泉に入れます(ˊ)）。

※電車でいらした方は終了後、温泉に入ってから、飯山駅まで宿の車で送ります。



帰りの目安は、飯山発 18:10 北陸新幹線はくたか 572 号⇒20:00 東京着

名古屋方面は飯山発 18:15 飯山線長野行き 19:10 長野着、長野発 19:40 しなの 26 号 22:42 名古屋着

などがおおよその見当です。（あくまでも目安で、諸事情により必ずしも間に合うことを保証するものではありません）

※天候にかかわらず実施いたしますが、天候によっては予定を変更せざるを得ない場合もありますので、あらかじめご了承ください。また、天候など自然条件や交通機関の事情によってスケジュールを一部変更せざるを得ないときも、参加費の変更はできませんのでどうかあらかじめご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

◎宿泊

「野沢温泉ホテル」（Tel.0269-85-2011 住所＝〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷 7923-3 <http://nozawaonsen-h.jp/>）野沢温泉・大湯のすぐそばに建つ老舗の温泉ホテル。引いてある温泉は源泉 100%の掛け流し。この宿だけの源泉で、野沢温泉の中でもとくに素晴らしい瑠璃色の泉質です。水で薄めないために、温度調節も池にホースを潜らせておこなっています。雪を見ながら入れる露天風呂もあり。野沢温泉にはこの他にも 13 箇所の無料共同浴場があり、それぞれ源泉が違います。温泉街も独特の情緒があり、温泉饅頭の湯気が似合う風情です。



*お部屋はソーシャルディスタンスを考慮した、参加者どうしの男女別相部屋となります。

*所定の喫煙スペース以外でのおタバコは、どうかご遠慮くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

*宿の Covid-19 対策につきましては、巻末別紙をご覧ください。

◎講師

橋谷 晃 大好きな自然が失われていくのを食い止めるには、とにかく自然の良さを知ってもらうのがいちばん！と、1982年にネイチュアリング・スクール木風舎を創立、以来その代表。テレビ朝日「大人の山歩き」(2012年～13年)、およびNHK・Eテレ「チャレンジホビー・あなたもこれから山ガール」(2011年)にレギュラー出演。現在はNHK・BS「にっぽん百名山」シリーズや、テレビ東京「なないろ日和！」(準レギュラー)などに出演中。その他、新聞の連載コラムや、FMラジオ番組などでもおなじみの方も多いかも。NPO法人自然体験活動推進協議会評議員。(公社)日本環境教育フォーラム認定自然学校組織運営者。NPO法人日本ロングトレイル協会理事。日本テレマークスキー協会公認指導員。(公社)日本山岳ガイド協会公認ガイド。NPO法人日本エコツーリズムセンター世話人。著書に『ネイチャースキーに行こう』(スキージャーナル)、『トレッキングのABC』『失敗しない山道具選び』(山と溪谷社)、『ネイチャースキー』(山海堂)、監修本に『NHKテキスト・チャレンジホビーあなたもこれから山ガール』(NHK出版)、『中央線で行く山歩き&ハイキング』(コスミック出版)など。



◎抗原検査にご協力をお願いいたします

事前にCovid-19抗原検査キットを郵送いたしますので、お手数で大変恐縮ですが、前夜または当日朝に、説明書に従って検査していただき、結果の写真をスマホなどの携帯電話でご持参いただきますよう、皆様の安心安全のために、どうかよろしくお願い申し上げます。抗原検査につきましては、巻末資料をぜひご参照ください。

検査費用の一部1,300円を、恐れ入りますがご負担いただいております(半額程度を木風舎で負担させていただきます)。どうかよろしくお願い申し上げます。

◎持ち物

雪の自然を安全・快適に楽しめるように、下記の服装・持ち物は必ず用意してきてください。

◆ウェア

- ・アウターウェア…雪山用アウターウェア上下、スキーウェア、登山用レインウェア上下、のうちどれか。
雪山用ウェア(女性サイズ)のレンタルもあります。
- ・アンダーウェア…速乾性素材かウールのを、シャツ&タイツ必ず用意してください(登山用品店などで販売されています)。綿のものは冷たくなりやすいので避けてください。
- ・中間着…薄手フリースと厚手フリース、ダウンジャケットなど。

服装の一例 上 = 速乾性素材またはウールの長袖アンダーシャツ+薄手フリース+厚手フリースまたはライトなダウンジャケット+ゴアテックス雨具のジャケットまたは雪山用ジャケット類またはスキーウェア

下 = 速乾性素材またはウールのタイツ+フリースパンツ+ゴアテックス雨具のパンツまたは雪山用オーバーパンツまたはスキーパンツ

◆小物類

- ・グローブ…雪が付いても濡れず、手首から雪の入りにくいもの。(手首が短いグローブ、手首をコードなどで絞れないグローブは手首から雪が入りやすいので、避けてください)
- ・帽子…耳を覆えるニットキャップなど。
- ・ソックス…ウールか、速乾性保温素材など化繊パイルの中厚手のもの。
- ・サングラスまたはゴーグル(晴れているときはサングラス、降雪の日にはゴーグルが必要なので、両方ご用意ください。ゴーグルだけだと、歩きで内側が曇ってつらいです。サングラス、ゴーグルとも、レンズの色がオレンジやピンクなど、なるべく明るいものが悪天候時でも視界が確保でき、風景もくすまずに楽しめるのでおすすめです)

◆**その他** 昼食2回分（宿に弁当を頼むこともできますし、クッカー&ストーブを持参されても結構です）、日帰り用バックパック（保温着類、ポット、お弁当などが入るもの、あまり小さなものでは、暑くてウェアを脱いだ時、しまえなくなります）、保温ポット、雪の上に敷く敷物、カップ、昼食時に使う薄手の手袋、ヘッドライト（使いませんが、ツアーの時は、安全のため、必ず持つ習慣をつけてください）、洗面道具（タオル、バスタオル、ハブラシ、ヘアドライヤーは宿にご用意があります）
部屋着、マスクとフェイスカバー（別紙参照）、携帯用アルコール消毒液、記入された健康チェックシート

※オーバーパンツにゲイター機能のない方は、靴の中に雪が入らないようにするためのゲイター（スパッツ）もご用意ください（スキーレンタルの方はゲイターもレンタルに含まれています）。

【スキーセットを持参される方】

いっぱい滑るコース：ステップカットの付いた幅広のテレマークスキーが最適ですが、ステップカットのないテレマークスキー＋シールでも、シールをご持参くだされば、ちょっと煩わしいですが何とかできます。もしよろしければ、ステップカット付き板のみ、レンタルして試されるのもおすすめです。



◎レンタル

オリジナルステップカット付きテレマークスキーセット（板・靴・ストック）の、レンタルをご用意しております。初心者でも安心して自然の傾斜に対応でき、また慣れた人はおもしろく滑れる、歩く、登る、滑るのすべてができる道具です。ぜひ試してみてください。（木風舎で販売もしております）
またグローブ、ウェア、ゴーグル、シール、ゲイターなどのレンタルもご用意しております。

◎費用

参加費＝16,000 円（講習&ガイド費） ※宿泊費、交通費やリフト代、飲み物などは含まれておりません。

抗原検査一部負担金＝1,300 円（事前に検査キットをお送りし、当日朝または前日夜に検査していただき、検査結果をお持ちいただいております。検査単価のうち、約半額は木風舎で負担させていただきます）

宿泊費＝集合 A、B の方：12,250 円～（1泊2食・入湯税含む）

集合 C の方：19,150 円～（2泊3食・入湯税含む）

集合 D の方：22,300 円～（2泊4食・入湯税含む）

※1 部屋何人でお使いいただくかで、**料金が若干上がります**。お部屋割りは恐れ入りますがお任せください。

お弁当代＝1 食 770 円、2 食 1540 円

レンタル＝スキーセット：木風舎レンタル2日間 6,000 円。（板のみ2日間 3,000 円）

シール：1 日 800 円。グローブ：2 日間 800 円。ウェア：2 日間 3,000 円。

* **参加費・抗原検査一部負担金・レンタル代は木風舎にお振込みください**。

* **宿泊費・お弁当代は、現地で宿へお願いいたします**。

* **全国旅行支援が適用されますので、宿泊費は上記の2割引き**（上限 3,000 円）＋土曜泊分は 1,000 円、金曜泊分は 2,000 円の**クーポン**が付きます。身分証明証（免許証や保険証など）と、ワクチン3回以上接種済み証明証（シールが貼られた接種券控え、またはアプリ）または自治体検査の陰性証明書どちらかをお持ちください。

※お振り込みいただく金額：参加費＝16,000 円 ＋（必要な方は）レンタル代 ＋抗原検査一部負担金 1,300 円 の合計額です。

◎お申し込み この要項をご覧いただいた後、まず木風舎まで参加のお申し込みをお願いします。(今までにいただいておりますのは、要項のご請求です。参加ご希望の方は、お手数ですがこの要項をご覧いただいた上で、あらためてお申し込みいただきますよう、お願い申し上げます)

***木風舎 WEB サイトからのお申し込み** (満員になっている可能性もありますので必ず返信メールをご確認ください)

木風舎 WEB サイトの「お申し込みフォーム」からもお申し込みいただけます。

- ・ レンタルの欄は、この資料の申し込み書の内容に沿ってご記入ください。(サイズも必ずご記入ください)
- ・ 集合は?の欄は、A~Dの記号をお書きください。
- ・ 今回はツアーですので、「レッスン該当クラスはたぶん」の欄は無記入で結構です。
- ・ お弁当は? の欄は、希望日(3/4、5)をお書きください。
- ・ 今回はスキーですので、「最近登った山」の欄は無記入で結構です。

→確認の返信メールが届いた時点で、お申し込み受付

***Eメールでのお申し込み** (満員になっている可能性もありますので、必ず返信メールをご確認ください)

mokufu@mokufusha.com へ、メール本文中に 申込書と同じ項目をすべて(集合、お弁当、レンタルなど)

書いて Eメールでお申し込み→確認の返信メールが届いた時点で、お申し込み受付

***FAXでのお申し込み** (一部コンビニからもFAX送信ができます。満員になっている可能性もありますので、必ず木風舎からの返信をご確認ください) 03-3398-7448 へ、申込書を記入して FAX→確認の返信が届いた時点で受付

***お電話でのお申し込み** (その場で空き状況のお返事ができます。留守番電話ではお受付できません)

03-3398-2666 へお電話でお申し込み→申込書を1週間以内に FAX または郵送で送る

※土日祝、夜間のお申込みは、サイトのお申込みフォーム、Eメール、FAX をご利用ください。

着信順に受付をさせていただきます。

↓ お申し込みが済んだら

お振り込み

参加費のお振込は以下の方法で承っております。

- ・ 郵便振替 00120-5-15346 木風舎 (ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方は、口座間振替にすれば、ゆうちょ ATM からの振替は手数料 100 円、ゆうちょダイレクトなら月に 5 回まで手数料無料です)
- ・ 銀行振込 ATM などから みずほ銀行 阿佐ヶ谷支店 普通 1060452 モクフウシャ ダイヒョウ ハシヤアキラ へ、振込者名を「講習番号+あなたのお名前」にしてお振込み。
- ・ PayPal でのお支払い PayPal に登録すれば、スマホやパソコンから簡単にお支払いができます。ご一報くだされば、PayPal 登録ご案内メールをお送りいたします。
また既に PayPal ご登録がお済みの方は、メールや、お申込みフォームのメッセージ欄に「PayPal で支払い希望」とお書きください。ご請求メールをお送り申し上げます。(PayPay ではありません。ご注意ください)
※なるべく 3月1日までに(それ以降のお申し込みの場合はできるだけ早く) ご入金ください

◎お電話の受付コアタイム 月~金 14:00 ~17:00

(この時間内でも、スタッフ全員外出している場合もあります。Eメール、ファックス、留守番電話が 24 時間ご用件を承ります)

◎キャンセル

参加費のキャンセル料：2/22 日以降のキャンセルは参加費の 10%、2/28 以降は 30%、3/2 以降は半額、当日以降は全額のキャンセル料が必要となります。

宿泊費のキャンセル料：前日は 1 泊 2 食分の半額、当日は 1 泊 2 食分の全額のキャンセル料が必要となります。
(宿のキャンセル料のお振込み先は、別途ご案内を差し上げます)。

- ◎ 健康とケガの防止については自己管理です。自然の中での活動であり、とくにスキーはどんな場合でもケガ等の可能性が潜在的にあることを十分に認識されて、常に安全で無理のない行動を心掛けていただきますよう、お願い申し上げます。また持病等のある方は、必ず主治医の承諾を得てご参加いただきますよう、お願いいたします。
- ◎ 参加者は全員傷害保険に加入していただいております。私たちは安全には最大限の配慮をしておりますが、万一ケガなど損害の生じた場合は、主催者の故意または重大な過失によるものを除いて、その全責任は個人に帰着します。参加者はその旨了承されて参加されたものとし、当講座では応急手当の処置などを除いた一切の責を負いません。

【個人情報のお取り扱いについてのポリシー】

- ・お申込書にお書きいただきます個人情報は、保険のお手配、お申込み手続き等が確認できない場合のご確認、自然条件などで記載事項に大きな変更があった場合のご連絡、開催中に万一お怪我等なされた場合のご連絡等に必要な事項です。
- ・ご記入いただきましたご住所に、今後木風舎よりのお知らせを年に数回お送りさせていただく場合がございます。お知らせご不要の場合は、お申込書のメッセージ欄にご遠慮なくお書きください。
- ・いただきました個人情報は、当社管理規定に基づき、厳重に管理させていただいております。また上記の目的以外に情報が使用されることは一切ございません。
- ・その他、情報管理につきましてご不明の点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

いろいろわからないことや 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南3-45-4

持ち物の相談などお気軽に TEL. 03 (3398) 2666 FAX. 03 (3398) 7448

Email : mokufu@mokufusha.com URL : <http://www.mokufusha.com>

木 風 舎 まてどうぞ

※お申込み書の後に、Covid-19 感染防止対策のための皆様へのお願いと、検温・記入してお持ちいただく健康チェックシートがあります。ぜひお読みください。

お申込書 講習番号 23116 ネイチャースキー野沢温泉 3/4~5 (いっぱい滑るコース)

本案内の事項を理解した上で、下記の通り申し込みます。

生年月日 19____年____月____日生

お名前 フリガナ _____ 印 男・女 ご自宅 Tel. _____ 年齢 _____ 歳 (保険に必要です)

ご住所 〒 _____

携帯電話 Tel. _____ 緊急時のご親族等のご連絡先 Tel. _____ (続柄)

Eメールアドレス _____ (必要なお連絡は、基本的にメールで差し上げます)

携帯アドレスで受信制限をかけていらっしゃる方は、mokufu@mokufusha.com を受信可にしてください。

FAX でお申込みの場合、確認の返信 FAX お送り先番号は(上記のEメールアドレスご指定も可) _____

集合は A・B・C・D お弁当は 両日とも必要・1日目のみ必要・2日目のみ必要・両日とも不要

スキーセットのレンタルは 要・不要 要の場合：身長 _____ cm、靴サイズ(ふだんの靴で) _____ cm シールのレンタルは 要・不要

テレマークスキーは？ (テレマークスキーが初めての場合) グレンデのアルペンスキーは？

- まったく初めて
- グレンデの中級コースならそんなに転ばずに楽しんで滑れる
- グレンデの中級コースならまず転ばずに滑れる
- プルークボーゲン(ハの字で滑る)ができる
- グレンデの中級コースを楽しめる
- 整地なら上級コースも滑れる
- グレンデならとりあえずどこでも滑れる

木風舎からのお知らせをメールでお送りしてもよろしいですか？ (メール情報サービス：季節のお便りや講習や場所の詳しい説明など、月2~3回程度、不定期)

はい [アドレス(PCでも携帯でも可) _____] ・ いいえ ・ 既に受信中

今回の講習を何でお知りになりましたか？ (DM・知人から・木風舎のWEBサイト・チラシがあったショップ名・テレビ番組・イベント名 etc.)

[_____]

よろしければ、今回に期待することなどメッセージを一言。

[_____]

それでは、お会いできるのを楽しみにしております

※この後に、Covid-19 感染防止対策のための皆様へのお願いと、検温・記入してお持ちいただく健康チェックシートがあります。ぜひお読みください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために

～木風舎の感染拡大防止対策と皆様へのお願い～

2023/2 改訂 木風舎

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止のために

木風舎では、以下の方針で感染拡大防止策を実行してゆきます。

- 開催地の地元の状況に配慮したプラン
- 「巣ごもり」中の皆様の体力低下に配慮したゆったりプラン
- 定員を通常より少なく設定
- スタッフと皆様の健康チェックをしっかりと実施（検温やチェックシートの活用）
- 宿泊を伴うプログラムは、実施前に全員を対象に Covid-19 抗原検査を実施
- ソーシャルディスタンスの保持
- 手洗い、手指消毒の励行
- マスク類の状況に応じた活用（詳細は後述）
- 各種消毒の実施
- 宿泊施設との協力（部屋定員を抑えたゆったり宿泊や、消毒の実施、換気など）
- 室内換気の実施

普段から感染拡大防止に気をつけて生活していらっしゃる方は、「あ、普段気をつけていることを、山でも気をつければいいんだ」ということに気づかれると思います。

その通りなのです。山に入ればウィルスの性質が突然変わるわけではないですから、基本的な感染拡大防止策は、街と同じです。

そもそもアウトドア活動は、本来 with コロナ時代のレジャーの優等生ともいえます。

「遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ」（2020/5/4 専門家会議発表「新しい生活様式」実践例より）

しかし一定時間を仲間とともに共に過ごす、という面がありますから、「密」を避けるさまざまな工夫も必要です。そこで皆様には以下のようなご協力をお願いしております。

また木風舎の Covid-19 対策スタッフマニュアルについても公開しておりますので、ぜひウェブサイトをご覧ください。

◎参加される皆様へのお願い

以上の対策を実行するために、皆様にいろいろとお願いがあります。

ご面倒やご不便をおかけいたしますが、感染拡大防止のために、皆様一人一人のご協力が、ぜひとも必要です。どうかよろしくお願い申し上げます。

*ご参加前のお願い

- 日常生活の中で、普段にも増して、ご自身の健康管理と、感染防止のための行動を、どうかよろしくお願いいたします。(睡眠と栄養、マスクと手洗い、なるべく人混みは避けて、大勢の大声の飲み会などは避けて・・・など、言わずもがなのことで恐縮なのですが)

- とくとき意識して身体を動かしてください。

自粛期間が続いたため、運動不足になっている方も多いと思います。また普段から汗をかいていないと、熱中症になりやすくなります。

毎日 10 分、効率的に運動できる動画もつくりましたので、よろしければ参考になさってください。

https://youtu.be/1zAy5xh-l_k

- ご参加の 10 日前から（それ以降にお申し込みの方は、お申込みの日から）、毎日 1 回検温して、その他の症状チェックとともに、文末の「健康チェックシート」にご記入ください。

※開催前 10 日以内に、ご本人および同居のご家族に、平熱より 1℃以上高い発熱のあった方、およびチェックシートに記載の症状のあった方、検査で陽性反応が出た方は、大変恐縮ですがご参加いただくことはできません。

※ただし、あきらかに Covid-19 ワクチン接種の副反応による発熱である場合は、これに含めません。詳しくは木風舎 WEB サイトをご覧ください。 <https://www.mokufusha.com/contents/2021/06/covid-19-3.php>

- 以下の既往歴などがある方は、WHO や厚労省などにより、感染した場合に重症化リスクが高い傾向があるとされており、レジャーでのお出かけは、ワクチンの接種や、主治医にご相談されるなど、より慎重なご判断をされることをおすすめいたします。

糖尿病、心臓病、慢性呼吸器疾患、透析中、抗がん剤使用中、免疫不全、ステロイド長期使用中、肝臓病、重度の肥満(BMI 30 以上)、喫煙習慣のある方

*ご参加当日のお願い

- 交通機関に乗車中

- 交通機関の中では、必ずマスクをつけてください。
- こまめな手洗い、とくに乗車前、降車後は、手指消毒をお願いいたします。

- 列に並んでいる間なども常にソーシャルディスタンスを意識してください。

(JR 東日本によると、新幹線や在来線特急の車両は、常時換気装置がついていて、6~8分で車内の空気が全部入れ替わるそうです <https://www.jreast.co.jp/ass/pdf/20200407.pdf>)

• 集合時

- 記入された「健康チェックシート」をお渡してください。
- あらためて検温と健康状態の確認をさせてください。
- 宿泊を伴う場合は、宿で集合時に（屋外集合の場合は事前送付で）Covid-19 抗原検査を実施いたします。皆様の安心安全のため、ご協力をお願いいたします。（抗原検査につきましては、この文書の後半「抗原検査のご協力のお願い」を、ぜひご覧ください）万一、陽性反応が出た場合は、大変恐縮ですがご参加いただけません。医療窓口に連絡し、その指示に従ってください。

※自治体による、無料検査会場も増えてきましたので、こちらをご利用されて、3日以内の結果(画像 or 紙)のご持参でも OK です。詳しくは「都道府県名 PCR 検査等無料化事業」で検索すると、実施場所など詳しい情報が出てきます。こちらを利用されると、検査一部負担金 1,300 円は不要です。どうか自治体無料検査を、積極的にご利用ください。

- 集合時にあらためて手指の消毒をしていただきます。

• 行動中

- 行動中、休憩中を含めて、人と人の距離を、できるだけ 1.5~2m 以上に保ってください。
- 実施中は、屋内ではマスクを着用してください。
- 屋外では、1.5~2m の距離があり、大声を出さない状況では、厚労省指針ではマスクの必要はないとしていますので、マスクなしでも OK です。

しかし常に距離が取れるとは限らないので、**ご無理のない範囲で**、呼吸が楽なフェイスカバーなど（持ち物の項を参照）を着用されるのも、安心かと思います。

とくにスキー場では、口と鼻を覆うものがないとリフトに乗車できないルールの場合がありますので、スキーはフェイスカバーをご持参ください。（熱中症やバテ防止のため、行動中はくれぐれもご無理をなさらないでください。とくに運動中の不織布マスクは、着用なさらないでください）

- 休憩時には、こまめな手指の消毒をしてください。（とくにトイレの後、飲食の前、人がよく触れる場所に触った後、日焼け止めの塗り直しなど顔に触れる前）
- 皆様の間での物の受け渡し、食べ物の配布などは、恐れ入りますが当面はご遠慮ください。
- ご自身のスマホやカメラを、スタッフへ手渡しての記念撮影のご依頼の際は、スタッフは手指消毒してから承ります。
- 万一体調に異変を感じた時は、すぐにスタッフにお申し出ください。

• 宿泊施設に滞在中

- 宿泊施設が実施しております感染防止策は、別紙の通りですので、どうかご覧ください。
- 滞在中もこまめな手洗いまたは手指消毒を、お願いいたします。
- 滞在中、スタッフが皆様のお部屋を巡回して、要所の再消毒をさせていただきます。
- ダイニングや食堂などは換気のため窓を開けますので、防寒着を充分にお持ちください。また皆様の居室もときどき窓を開けての換気をしてください。
- 滞在中も常にソーシャルディスタンスを意識してください。
- 滞在中の建物内では、常にマスクを着用してください。
- 食事中は大声を避け、こまめにマスクを着用する、いわゆる「マスク会食」をお願いいたします。コース料理で間隔が空くときも、こまめなマスクの着用をお願いいたします。
- 食事後に飲食を伴う交流をする場合も、基本的にマスクを着用し、飲食物を口に運ぶ際だけマスクをずらす、いわゆる「マスク会食」をお願いいたします。常に換気をしながら、近距離を避け、大声は慎んでください。マスクをつけ、静かな声で、ゆったりした「大人の会話」を楽しみましょう。なお交流をされる場合は当分の間、原則として22時までに行いましょう（山小屋の場合は、その施設の指示に従ってください）。
- 食事や交流の場には CO2 測定機を置き、常に換気状態を確認します。（顔の高さで厚労省基準の1000ppm 以下になるように、常に換気状態をチェックします）
- 交流用に食物をご持参くださいます場合は、恐れ入りますが個包装のものに限らせていただきます。
- 携帯用アルコールスプレーを持ち歩き、人がよく触れるものに触れる前に手指消毒、触れた後にも手指消毒を、こまめに徹底しましょう。
- 朝晩2回、スタッフが検温と健康状態の聞き取りをいたしますので、どうかご協力ください。
- 使用済みのマスクや、鼻をかんだティッシュはゴミ箱に入れずに、ビニール袋に入れて持ち帰りましょう。

• 解散後

- 終了後5日間以内に万一発熱などの症状が出た場合は、すぐに木風舎までお知らせください。

• 宿泊施設サイドからの対策

木風舎でお世話になる宿泊施設では、以下の対策を実施しております。

- 通常にも増した入念な清掃。
- ドアノブ、スイッチ、水栓、テーブル、イスなど、手に触れやすい場所の消毒の徹底。
- アルコール消毒液の設置。
- シーツや枕カバーなど清潔なリネンの交換（山小屋では不織布シーツなど別の対策になることがあります）
- 通常より少ない定員設定とゆったりしたお部屋割り
- 食堂など共用スペースの換気
- ペーパータオルの設置または個人専用タオルの配布（山小屋はタオル持参）
- 洗面用紙コップまたはお部屋に人数分の湯のみやコップの備え付け（山小屋はカップ持参）

* 必要に応じたマスク類着用をお願い



宿、交通機関、食堂など屋内では

• 不織布マスク

往復の交通機関、室内、人の多い場所などでは、不織布マスクの効果が高いので、おすすめです。また布製でも、フィルターを入れ、顔との密着性が高いなど結構しっかりしたものもあります。

屋外では

• 大声を出さずに距離をとれる状況でしたら、マスク無しでも OK です。

とくに不織布マスクは運動して呼気で濡れると、とても息苦しくなりますので、運動中は無理があります。

暑い時期の屋外での運動中は、不織布マスクは、着用なさないでください。

• 並行して無理のない範囲で、軽く口と鼻を覆うものがあると、より安心でしょう

屋外では、人との距離が1.5~2m とれ、大声を出さなければ、マスクは不要とされています。

しかし何かを見る時や、山道でのすれ違いなど、必ずしもその距離を保てないこともあります。

そこでここで紹介するように、あまり呼吸が苦しくならない、軽く口と鼻を覆うフェイスカバーが市販されていますので、こういったものを併用されますと、より安心かと思います。

とくに冬期のスキー場では、リフト乗車の際にフェイスカバー等の着用を求められることがありますので、

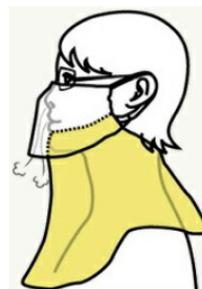
スキーの場合は必ずご用意ください。

以下にご紹介するものは、微粒子であるエアロゾルに対する効果は期待できませんが、**空気が滞留しない野外限定**でなら、大きな飛沫が口や鼻から他者に直接かかるのを軽減したり、開いた口に直接飛沫が飛び込むのを防いだり、また不用意に手で口や鼻に触れることを防いで接触感染の確率を下げたり、という意味で、口や鼻が露出しているよりはベターだと思います。ディスタンスや、対面の大声を避けるなどの対策との併用を前提として、紫外線対策を兼ねて、ご無理のない範囲で着用するのも良いと思います。

とくに冬は、着用することによって**防寒防風**になり、**紫外線による日焼け**も防ぎますので、**着用した方が快適なことも多い**です。

• おすすめのフェイスカバー

いろいろなフェイスカバーを試してみましたが、丸福繊維というメーカーの「ヤケーヌ」シリーズが、右図のようなセパレート構造で、鼻筋に形態安定テープが入っているため、生地が口に張り付かないのが特徴で、呼吸がとても楽です。ゴーグルやサングラスも曇りにくいので、大変おすすめです。



• 冬用

「あったかフリースヤケーヌ」「あったか防風ヤケーヌ」

冬用の、防寒・防風・防 UV ができて、呼吸が楽な製品です。バラクラバにくらべて、呼吸のしやすさ、ゴーグル類の曇りにくさは、雲泥の違いです。
2420~2640 円。



<https://yake-nu.shop-pro.jp/?pid=165392594>

<https://yake-nu.shop-pro.jp/?pid=145432817>

• オールシーズン用

「ヤケーヌ爽クール・スマート」オールシーズン使える薄手のヤケーヌです。ヤケーヌシリーズの中でも、もっとも通気性のいい生地を使用して、いちばん呼吸が楽な製品です。2640 円。

<https://yake-nu.shop-pro.jp/?pid=168704274#z>

以上の製品は、紫外線カット率約 90%以上で、UV 対策も**ばっちりできる**のも魅力です。マスクのように耳に負担にな



らないのもポイントです。いろいろテストした中で、イチオシです。

もしコロナ後の世の中になっても、紫外線対策として、これは大いにありかなと、感じています。

「ヤケーヌ」シリーズの他の製品は、こちらをご参照ください。

<https://yake-nu.shop-pro.jp/?mode=f3> (形態安定テープ(鼻芯)がついたものがおすすめてです)

•(参考：スポーツ用布マスク)

多くの製品をテストしてみましたが、上記のようなフェイスカバーにくらべて、やはり運動すると息苦しいものが多いかなと感じています。(製品によると思いますが)



•(参考：ウレタンマスク)

薄いスポンジのような生地のマスク。呼吸は楽で安価なので、呼吸が楽なものほど飛沫に対する効果は薄い、ということを実感して、**屋外専用**で使われるのも良いかと思っています。



•(参考：ネックゲイター)

右の写真のようにピッタリしたタイプは、運動するとやはり息苦しくなりますので、あまりおすすめてできません。



以上のように、

- **室内や交通機関**：不織布マスク
- **屋外**：距離や声の大きさに配慮しつつ、マスク無しでも OK です。

無理のない範囲で、呼吸が楽な、軽く口と鼻を覆うフェイスカバーなどを併用するのもおすすめてです。(ただし**熱中症やバテ予防が優先**ですので、けっして無理をしないでください)

と、メリハリをつけて、使い分けてください。

後者は細かな飛沫に対する効果はあまり高くないので、野外での運動中に「何も着けないよりはベターなもの」と考え、着けているからといって安心して、ソーシャルディスタンスや、なるべく対面の大声で話さないなど、その他の行動を忘れないようにしてください。

(対人距離、声の大きさ、顔の方向、フェイスカバーなどを併用して、それぞれ充分でない部分を補い合って、飛沫感染を防いでいけると良いと思います)

また、これらを着用することは、他の人へ「あなたを気遣っています」というメッセージを伝えているということも、大切なポイントの一つだと思います。

*熱中症にならないこと、バテないことが優先

ただし屋外で熱中症などの危険がある場合は、けっして無理をなさらないでください。熱中症で搬送されると、「コロナかもしれない」という前提ですべて動くことになります。「救助や医療体制に負担をかけない」という意味では本末転倒になってしまいますので、くれぐれも、ご無理がないように。

厚労省では、屋外で人と1.5~2m以上の距離を取れる場合や大声を出さない場合は、マスクの必要はないとしています。

マスクをはずしたら、近い距離や大声でしゃべらない、を守っていただければ屋外では大丈夫です。

(ちなみにガイドは皆様に聞こえるようにお話しすることが仕事ですから、常にこれらを着用させていただいておりますが、ガイドが着用しているからといって、それにならう必要はありません)

*その他の Covid-19 対策用持ちもの

• アルコール消毒液

こまめな手指の消毒のために、ポケットサイズのアアルコール消毒液をお持ちください。

• ファスナー付きビニール袋など (ごみ持ち帰り用)

使用した使い捨てマスクやティッシュなどは、ファスナー付きビニール袋に入れて、また口をつけたペットボトルなどはビニール袋に入れて口をしぼり、ご自宅へお持ち帰りください。

• 洗面用カップ (宿泊の場合) 宿によっては紙コップ備え付けのお宿もあります。

• 体温計

スタッフは非接触型体温計1台と、普通の体温計1個を持っています。通常は非接触型体温計で計測し、もし平熱と違う値が出れば普通の体温計で脇下計測をいたします。普通の体温計を使用した場合はそのつどアルコール消毒いたしますが、もしお持ちになれる方は、ご自身のものをお持ちください。

*抗原検査ご協力のお願い (2021/5 追記、2023/2 改訂)

木風舎では**従来の対策**に加えて、皆様の安心安全のために、**宿泊を伴う場合は、集合時などに全員の方に、厚労省認可医療用抗原検査キットを使用した、Covid-19 抗原検査へのご協力をお願い**しております。

(宿集合の場合は集合時に実施、屋外集合の場合は事前にキットをお送りさせていただいております)

検査キット単価の**半額程度を木風舎で負担**いたしますので、誠に恐れ入りますが皆様にも、検査キット費用の一部 **1,300 円 (税込み) のご負担をお願い**できますでしょうか？

検査は確定診断ではありませんので、陰性でも引き続き、室内でのマスクや、手指消毒、ディスタンスなどの感染症対策が必要です。

しかしリスクを少しでも減らすことができるのなら、できることはすべてやってゆきたいと思えますので、皆様のご協力を、どうか何とぞよろしくお願い申し上げます。

※自治体による事業で、薬局などで無料で検査を受けられる機会も増えてきたため、これらの検査を利用した実施日3日以内の結果のご持参 (画像 or 紙) でも OK とさせていただいております。

詳しくは「都道府県名 PCR 検査等無料化事業」で検索すると、実施場所など詳しい情報が出てきます。

会場によって、**予約が必要な所と、そうでない所**があります。

また会場によって、抗原検査と、PCR 検査の 2 種類があります。PCR 検査は結果が通知されるのが翌日以降になりますので、開始日に間に合うかどうか、ご確認ください。

抗原定性検査は、その場で結果が分かります。

無料ですので、一部負担金 1,300 円は不要です。**自治体無料検査を、ぜひ積極的にご利用ください。**

(日帰りプログラムの場合は、屋外での活動のため、木風舎からご用意する抗原検査はいたしません。

もちろん、自主的に自治体の無料検査を受けていらっしゃるの、歓迎いたします)

【抗原検査につきまして】

ウィルスを検出する手段として、PCR 検査と、抗原検査があります。

PCR 検査は、検体中のウィルスの特徴づける遺伝子を検出するものです。

抗原検査は、検体中のウィルスの特徴づけるタンパク質を検出するものです。

抗原検査は、検出にある程度の量のウィルスを必要とするため、PCR 検査に比べて検査の精度がやや劣るとされています。しかし

- PCR 検査は検査時点 (状況により、数日前のことも) の状態がわかるのに対し、その場で結果が出

る抗原検査は「今」の状態がわかる。

- 費用が安く、方法が簡便。
- その場で結果が出るので、検査体制への負荷がない。

というメリットもあり、最近のキットは精度も上がってきたため、さまざまな場での活用が始まっています。

抗原検査は、ウィルスの排出量が少ないと検出しにくいいため、潜伏期の感染者の特定や、陰性確認には向きません。(PCR 検査でさえ、感染初期にはすり抜けて陰性として、数日後に症状が出てから再検査すると陽性となる例が多々あります)

しかし、人に感染させるほどウィルスを排出している場合は検出しやすいため、参加される方の中に意図せずしてウィルスを排出している方がいらっしゃる可能性を、検査をしないよりはずっと低くすることはできます。

「抗原検査は感染性のある時期においては十分な感度を有するという知見が集まりつつあります。」(国立国際医療研究センター・忽那賢志 国際感染症対策室医長(当時))

市販されている抗原検査キットの精度は、製品によってかなりピンキリです。

木風舎で今使用しているキットは、厚労省により医療用として承認された製品です。

ワクチン接種とも合わせて(体質的に打てない方もいらっしゃるため、ワクチン接種を参加要件にはしておりませんが、実際には参加される方の接種率は、3 回目は 100%に近い、4 回目も 9 割以上です)、ワクチン+検査の二重のガードで、安全性は相当に高くなると思います。

ただ、安全性が相当に高くなっても完全ではありませんので、検査結果が陰性判定でも、引き続きこのご案内にあります**基本的な感染症対策を**、まだしばらくの間は、**どうか続けていただきます**よう、よろしくお願い申し上げます。

基本的な感染症対策+ワクチン+検査の三重のガードで、リスクを最小限にしてゆきましょう。

ガイドの仕事の第一は、皆様の安全を守ること。

ここまでやれば安心だと思える、現状で最善と思われる環境をつくることを、皆様の安全のために、目指したいと思います。

どうかご協力をお願い申し上げます。

※このお願いを作成するにあたり、今まさに新型コロナウイルス感染症の現場で闘ってらっしゃる医療の専門家の皆様に、多くの貴重なアドバイスをいただきました。お忙しい中、親身に監修してくださいました皆様に、この場をお借りして心からお礼申し上げます。

健康チェックシート

ご参加の10日前から(10日前以降のお申込みの場合は、このチェックシートが到着した翌日から)毎日検温をして、このシートにご記入ください。

また表に記載の症状が一つでもありましたら、ご記入ください。

期間中に平熱より高い発熱のあった方、記載した症状が一つでもあった方は、木風舎まですぐにご連絡ください。

検温は毎朝がベストですが、難しい場合は毎晩でも構いません。もし検温を忘れてしまった日は、とくに熱っぽくなかった場合は体温欄に「異常なし」とお書きください。

とくに当日朝は、忘れずに検温してください。このシートは当日必ずお持ちください。

日付	体温	咳、息苦しさ、のどの痛み、頭痛、悪寒、通常とは違うだるさ、味覚嗅覚異常などの症状があった場合は、こちらにお書きください。
前日		
当日朝		

開催10日間以内に、同居のご家族に37.5度以上の発熱や、表に記した症状が あった・なかった

10日前以降に申し込まれた方は、10日前から測定開始日までの間に

熱っぽい日が あった・なかった 表に記した症状が一つでも あった・なかった

次の病気の既往歴がありますか？ 心臓病 糖尿病 慢性呼吸器疾患 脳血管疾患 肝臓病 免疫不全
 透析中 抗がん剤使用中 ステロイド長期使用中 重度の肥満(BMI 30以上)

現在治療中の病気がありますか？

[_____]

服用中のお薬や、伝えておきたいお薬がありますか？

[_____]

Covid-19 ワクチン接種済みの方は✓してください

1回目接種済み 2回目接種済み 3回目接種済み 4回目接種済み 5回目接種済み

お名前 _____